

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店 長）	・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も進んでいる。今後新規感染者数が増えたとしても、対応能力はある。
	◎	コンビニ（経営者）	・観光客の増加によってホテルの宿泊利用者が回復しているため、来客数の増加が期待できる。
	◎	コンビニ（店長）	・年末の来客数の推移がコロナ禍以前にほぼ戻ってきており、人の動きが活発になれば当店の立地上、景気は良くなると判断している。
	○	スーパー（企画担当）	・国内旅行者に加え、今後インバウンドの規制緩和も進むことで入域観光客数の増加が見込まれる。そうなれば、スーパーマーケットにも追い風になる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・全国旅行支援が再開されることもあり、3月一杯までは順調に国内の旅行者数が増え、景気も上向きになるとみている。
	○	家電量販店（営業担当）	・海外からの観光客数が増加し、免税売上が増加する。また、全体的な商品の値上がりにより商品単価が上昇する。
	○	乗用車販売店（営業担 当）	・新車購入検討で来店する客は前年12月より増えており、来年1月から3月の春先需要は回復の予想である。
	○	観光型ホテル（代表取締 役）	・宿泊部門に関しては、全国旅行支援があり2月の動きが良い。3月はまだ動いていない。飲食宴会部門は、まだ動きが少ない。新型コロナウイルス感染症の動き次第と考えている。
	○	その他サービス〔レンタ カー〕（営業）	・先行受注状況は2019年を上回っており好調に推移している。全国旅行支援の延長も後押しになると期待できる。
	□	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルス感染症に関する制限緩和は期待しているが、消費財の値上げによる悪影響が拭えないため、景気の変化はみられないと予測している。
	□	スーパー（販売企画）	・年明けも商品値上げの情報が製造メーカーやニュース報道からあり、単価アップによる売上の伸びは現状どおり期待できる。しかし全て売価に反映させることが難しかったり、また電気料金高騰などの影響で経営環境が厳しい状況にある。
	□	コンビニ（代表者）	・観光客数の増加には期待しているものの、足元の消費に関する不安要素を払拭することができない。ガソリン価格、電気代高騰、2023年2月の値上げ再ラッシュを懸念する。実際に、幹線道路や観光地に近い立地は好調だが、生活道路サイド、住宅地の客足は遠のいてきている雰囲気がある。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は年末であり期待していたが、前半の暖かい気候やあらゆる物の値上がりもあり、売上が増えていない。また後半も基本の定価では売上上昇の材料になっていないのが現状である。まだまだ景気が上がる気配はみえない。
	□	一般レストラン（代表 者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきて、皆敏感になっている。
	□	住宅販売会社（代表取締 役）	・民間の住宅建築や投資計画に関しては、当面は現在の低下傾向が続くとみられる。公共工事の発注増加に期待したい。
	□	住宅販売会社（役員）	・今後の住宅ローン金利が上がる可能性があり、消費者心理が後退する懸念がある。
▲	コンビニ（副店長）	・物価上昇により売上は増加しているようにみえているが、光熱費や人件費といった経費も軒並み掛かり、利益確保が困難である。物価高騰や増税に対する生活防衛にシフトチェンジも見受けられる。政府には十分に実感できる効果的な支援を強く望む。	
▲	乗用車販売店（経理担 当）	・良くなる要素が見当たらない。	
▲	その他専門店〔陶器〕 （製造）	・陶器製造に関しては、2～3か月先は観光の影響を受けて年末年始の発注数よりは一旦落ち着くと予測される。観光に頼らないスタイルの確保、イベント参加や展示、作品の良さをより高めていくなど、作って卸す以外の活動に力を注ごうと考えている。	
▲	観光型ホテル（企画担 当）	・ホテルの12月の販売室数は前年比47%増加なのに対し、12月末時点での3月の予約室数は前年比10%増加と、プラス幅が小さくなっている。	

	▲	旅行代理店（マネージャー）	・全国旅行支援も継続となっているが、業務的には更に複雑化していく模様である。時間や手間を考えると社会的には悪くなる。
	▲	通信会社（営業担当）	・今後いろいろな商品の値上げが続き水道光熱費なども上がっていけば、消費を抑える傾向になり、販売は苦しくなると考えられる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の収束の目安がまだまだ立たない厳しい状況下にあるとみており、もろもろの商売、飲食やその他も含めて来客数が少ない様子で、大変危機感が募っているようである。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え始めており、県から12月22日から1月13日までの対処方針が出された後で予約キャンセルが20件ほどあり、平日の入客数も例年の50%以下に落ち込んでいる。最悪の求人難、仕入れの値上がりで原価を圧迫しており、厳しい状況が続くそうである。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業（役員）	・引き続き円安の影響もあって国内の観光客数は増加傾向であり、来年は海外からの観光客も徐々に回復し、観光関連を中心に景気が上向きになりそうである。
	○	建設業（経営者）	・契約済みで未着工の現場が始まっていく。
	○	輸送業（代表者）	・先島地区の建築関連は、公共工事においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調だが、宮古島は端境期で少ない。ただし、与那国島では大型の自衛隊隊舎工事が発注され、今後は先島全体で防衛関連の需要が期待される。民需については、回復基調にある。
	□	輸送業（経営企画室）	・特段現状と変わらないと考えている。
	□	会計事務所（所長）	・土産品店の年末年始の客足増加は季節要因によるものである。
	▲	窯業土石業（取締役）	・原材料の価格高騰が続いているが、来月より再値上げの品目もあり、更なる収益悪化が懸念される。
	▲	広告代理店（営業担当）	・国内を中心に観光客が戻りつつあるなか、県内企業の販促活動も少しずつ活発になっているが、原材料の価格高騰の影響による収益悪化や人材不足を懸念する動きもあり、今後の販促投資はやや厳しくなると推察している。
	×	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・観光業が復調している。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・例年の推移として、年明けから企業の採用活動が活性化し求人情件数も増加していく。3月をピークとして増加し、夏に向けて減少していくと予測している。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・これから2024卒向けの採用活動が本格化していくなかで、学内説明会の依頼など前年以上に問合せがある。
	□	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼の増加はあるものの、人材難等で売上や利益の増加にはさほど反映されない。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・物価の上昇、電気料金の値上げ、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加等が影響する。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足が深刻なので、条件を上げられる事業所は人員を確保できるが、条件を上げられないところは、人員確保が非常に厳しいとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・年始の一時的な景気は期待できるが、それ以降は新型コロナウイルス感染症、物価高が重なり伸びにくい。
	▲	—	—
×	—	—	